

【オリコンサルグローバルの社員2人 ミャンマー国鉄から車両調達で感謝状】



ミャンマー国鉄から
車両調達で感謝状

オリコンサルグ
ーバルの社員2人

オリエンタルコンサルタンツグローバルの社員で、ヤングン環状線鉄道改修事業のプロジェクトマネジャーを務める長澤一秀技術本部理事と、ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業のプロジェクトマネジャーを務めるユインヨンラッタナクル・ナレントーン軌道交通技術第一部長の2人に11月25日、ミャンマー国鉄から

感謝状が授与された。

ミャンマーは2011年の民政移管以降、平均8%の経済成長を続けているが、鉄道インフラは施設や機材、車両の老朽化が進み、列車走行速度の低下や遅延、脱線事故などが頻発し、輸送サービスの低下が課題となっている。

同社はヤングン環状線鉄道改修事業やヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業など、同国で複数の鉄道整備・改修事業に携わっている。特に重要とされる車両調達で、長澤氏ら2人はヤングン環状線の車両66両とヤンゴン・マンダレー線の車両180両の調達に献身的に取り組む、ミャンマー国鉄とコントラクターとの契約交渉を取りまとめたことが高く評価された。

右から、ミャンマー国鉄マウンティン・ナレントーン局長、ユインヨンラッタナクル氏、オリコンサルグローバルの長澤一秀氏、ユインヨンラッタナクル氏、長澤一秀氏、ユインヨンラッタナクル氏、ユインヨンラッタナクル氏、ユインヨンラッタナクル氏。